

世界GW株式会社 日本神話の巻（2012年6月）

うちの会社は世界で一番古い書籍出版会社で、三千年の社歴があるんでっせ。  
あらゆる宗教、あらゆる神話、あらゆる昔話はうちの会社の創作なんですわ。

この前お話しました、日本の神話の『古事記』のことですけどね、『旧辞』や『帝記』からパクったって言いましたが、それら元の話も、うちの会社の創作でんねん、  
それらも、あっちゃ、こっちゃからの神話のパクリなんですわ。

それに、古事記では、高天原さん神さんと、地上の神さんの話が、すつきりと合わんでっしゃろ。  
なぜかって言いますとな、アマテラスさんの弟のスサノオさんや、出雲のオオクニヌシさんを間に置いて別々の話をくっつけたからですわ。

知ってまじやろ、スサノオさんね、高天原では暴れん坊やつたんですが、出雲に下りると、なんでか知らんけど、正義の味方に変身してしまいますやろ。

それに天孫が降臨するんは、征服した出雲やのうて、九州なん  
でっせ。こんなん、誰が聞いても、ちょっと無理がありますわな。



スサノオとヤマタノオロチ(月岡芳年・画)

実は、『古事記』の中はギリシャ神話を元に、いろんな話が入ってまんねん。

えっ、嘘やろって、ホンマでんがな、そんなに驚かんといて下さいな。

あのころ、ギリシャ本社の優秀な神話制作担当者が日本に飛ばされたんですわ。それで、そいつが日本に行く途中に立ち寄ったインドや南洋の国々、中国、韓国の話とギリシャ神話を貼り付けて日本の神話を  
作ったんですわ。

オリュンポスの神々は高天原の神々とよう似てますやんか。

両方とも、人間くさいヤオヨロズの神々でっしゃろ。

キリストさんなどの一人の神様の神話ちゆうか、宗教をつくったんは、  
最近の話しでんねん。

それはうちの会社の欧州統括本部の偉いさんが、あるところから頼まれて急いでこさえたんですわ。

それでユダヤ教もキリスト教もイスラム教も元の神さんは一人でっしゃろ。  
モーゼさんも、キリストさんも、モハマッドさんも神さんの代理人でっ  
しゃろ。

えっ、一人神を頼んで来たあるところとはどこのことかって？



道教神仙画

すんません、それだけは、絶対言えませぬのや。  
それまでは、どこの国の神話の神様は団体さんでしたんや。

えっ、それで、どこにギリシャ神話と日本の神話の共通点は何があるんやってですか？  
日本の神話のキー・ワードで言いますとな、お孫さん、末っ子、黄泉の国、見るなの約束、天の岩戸、ヤマタノオロチ、、、って一杯ありますんや。それらを順番にお話しまっさ。

この別の話をつないで作って行くやり方は、うちの業界用語で言う『接ぎ木』ですわ。  
そりゃあ、そうですわな。作った本人が一緒ですから。  
なぜ、その担当者がギリシャから日本に左遷されたかってですか。  
そいつね、ギリシャ神話では必要となる星座の知識がなかったんですわ。  
そんなら、星が出てこん話ばかりですむ日本へ行けてことになったんでっせ。  
なんせ、そいつね、文科系出身で語学は何カ国語も出来たんやけど、理科系、それも天体や地学が全くだめやったんですわ。  
天動説と地動説の違いや、黄道とその十二星座がどこに位置するかも知らんかったんですわ。  
なんや知らんけど、子供の時に夜が怖くて、夜空を見上げることがせんかったそうですわ。  
ギリシャ神話などの西欧の話を作る担当としては致命的な問題でしたんや。

おひつじ座 白羊宮 ♈	おうし座 金牛宮 ♉	ふたご座 双児宮 ♊	かに座 巨蟹宮 ♋	しし座 獅子宮 ♌	おとめ座 処女宮 ♍	てんびん座 天秤宮 ♎	さそり座 天蝎宮 ♏	いて座 人馬宮 ♐	やぎ座 磨羯宮 ♑	みずがめ座 宝瓶宮 ♒	うお座 双鱼宮 ♓
-------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------	-------------------	------------------	-----------------	-----------------	-------------------	-----------------

### 1. お孫さんと末っ子

日本では、高天原からアマテラスのお子さんやのうて、お孫さんのニニギさんが地上に降臨してまっしやろ。それに王権とるのはみんな末っ子さんですわ。  
あれね、うちの国のギリシャ神話からのモロパクリなんですわ。

ギリシャ神話知ってまっか。  
神々の王で浮気者のゼウスさん、お酒の神のバッカスさん、その他にポセイドン、タイタンなど一杯いはりまっせ。  
そのゼウスさんは最初の神さんのお孫さん、つまり三代目なんですわ。  
三代目と言えば『売家と 唐様で書く 三代目』って江戸川柳もありましたな。  
そう言えば猿之助さんも三代目から四代目に代わりはったし。  
あかん、あかん、ギリシャ神話や。



大地の母神ガイア

ギリシャ神話では、世界がカオスであった時に最初に生まれたのが、大地の母神ガイアさんでしたんや。

ガイアって、日本でもテレビの番組名になってますわな。日本の芸能人で国際結婚した相手でおませんでした、ちゃうか、あれはカイヤさんやったな。

ギリシャ神話のガイアさんね、たくさんのお子さんを生みはったんですわ。

自分の子供の中の一人のウラノスさんと結婚して12人の臣神タイタン族をも生んだんですわ。

けどな、夫のウラノスさんな、ガイアさんの子供を嫌って地獄に閉じ込めてしもうたんですわ。

そんで、ガイアさんが怒りまくって、悲しまはって、『子供たちの誰かよ、お前たちの父をやっつけておくれ』と鋼鉄の大鎌を用意したんですわ。

そうしたら、末子のクロノスがお父さんとお母さんが、ええことしてはる時にお父さんのオチンチンを大鎌で切り取ってしもうたんで、ウラノスさんは逃げていきましたんや。

そりゃあ、痛かったでしょうな。

しかし、なんで、ガイアさんは夫のウラノスさんを嫌っているのに、そんなにお子さんを生まはったんやろ。

ギリシャ人やからかなあ、女やからかなあ、うちはようわかりませんわ。

それに、ウラノスさんのオチンチンが海に捨てられて生まれたんがビーナスさんでっせ。めちゃくちゃなオチでっしやろ。

そんで、自分の兄弟たちを救い出して、クロノスさんは世界の支配者の二代目になりはったんですわ。

これで一件落着か思うたら、因果応報、自因自果でんな。

あれつ、これ仏教用語やわ。

ちゅうのは、父のウラノスさんが逃げる時に言った『のろいの言葉』がいつも気になったんですわ。そののろいの言葉とは『お前の王権も、いつか自分の子供に奪われるであろう』ちゅうのでした。

クロノスさんは、ガイアさんとウラノスさんから生まれた子供でしたやろ、それにティタン族のメンバーでもあったんですわ。

そして、クロノスさんは自分の姉さんのレアと結婚して、子供を次々に作っていたんですがな。

これも姉アマテラスと弟スサノオと同じような関係でっしやろ。

日本の場合は誓約でお互いの持ち物を噛み砕いて作りはったけどな。

けど、クロノスさんね、お父さんのウラノスさんののろいの言葉が気になったんで、レアさんが生んだ子どもを次々と飲み込んでいったんですわ。



『ギリシャ神話』 里中満智子・著



そこで、レアさんは末っ子のゼウスさんを妊娠した時にクレタ島に渡って内緒で出産して、クロノスさんには岩に包んだ産着を赤ん坊や言うて渡したんですわ。  
クロノスさんな、それを知らんと飲み込んで安心したんですわ。

ゼウスさんね、クレタ島で無事に成人して、お父さんのクロノスさんをやっつけたんですわ。  
そして、クロノスさんに吐き薬を飲ませて、飲み込まれていた兄弟をクロノスさんから吐き出させたんでっせ。

三代目ちゅうと、文武さんは天武さんと持統さんのお孫さんでしたやんか。間に草壁さんがいらっしゃいますわな。  
『孫』ちゅうのが古事記を作るときの条件のひとつだったようすわ。  
『末っ子』ちゅうと、オオクニヌシさんも八十神たちの末っ子でしたやろ、初代天皇の神武さんも4人兄弟の末弟でしたがな。  
というわけで、末っ子が活躍し、三代目が王権を勝ち取るっていうギリシャ神話と日本の神話の共通性があることがわかりますやろ。



みんなゼウスの子？

そういえば、シェークスピアの『リア王』、それを元にした黒澤さんの『乱』も末っ子が父親を守るという話でしたわな。

父親ってちゅうのは末っ子が可愛いんでしょるか？

## 2. 根の国 その1

それから、ゼウスさんとクロノスさんのティタン一族との戦いが続いたんですわ。

しまいには、ゼウスさんが勝ってティタン族は地の底に閉じ込められたんですわ。

これもアマテラスに負けたオオクニヌシさんが根の国に閉じ込められたと同じでっしょ。



ティタン族と神々の戦い

## 3. 根の国 その2

日本の神話ではイザナミさんな、火の神を生んで死んでもうて、根の国に行ってしもうたでしょ。

そして、夫のイザナギさんが、妻を呼び戻そうと根の国へ行ったんですわな。

しかし、後ろを『見るな』という妻の約束破って見てしまったさかい、夫のイザナギさんは醜く死体となったイザナミさんに追われて、やっとこさ、振り切って地上に戻ったんですわ。

これもね、ギリシャ神話に同じ話がありますねん。

ゼウスの娘さんが人間と結婚してできたお孫さんがいますねん。

オルフェウスちゆうて、豎琴の名人ちゆうか、人間として初めての吟遊詩人でんねん。

このオルフェウスさんね、奥さんを亡くすと冥界へ探しに行かはったんですわ。

それも豎琴を弾いて、歌をうたいながらでっせ。

冥界へは人間が入ることができんころでしたんやが、冥界の王のハデスさんが、オルフェウスさんの素晴らしい歌に参っしもうて、地上に出るまで振り返って奥さんの顔を見なければ、連れ帰ってええよって許しはったんですわ。

あきませんね、人間は、『見るな』ちゆうと見たくなるもんでんがな。オルフェウスさんも我慢できんと、途中で後ろを見てしもうたんですわがな。

そうしたら奥さんね、煙のように消えてしもたんですわ。

まったく一緒にしゅる、この話も。

まだ、まだありまっせ。



冥府のオルフェウス

### 3. 天の岩戸

アマテラスさんの『天の岩戸』事件知ってはりまっしゅる。

弟のスサノオさんが悪さをするんで、岩穴に隠れて、世界が真っ暗になったんで、アメノウズメがストリップをして、みなが騒いだんで、アマテラスさんが、岩を少し開けて外の様子を見ようとしたら、タジカラオの神がドゥーと岩戸を開けたんで、また世の中が明るくなったちゆう話でんがな。

これもギリシャ神話からのパクリですわ。

ギリシャ神話では豊穡の神デーメールさんにはペルセポネさんという娘さんがいましてね。

その娘さんが地獄の王様ハデスにさらわれたんですわ。

デーメールさんは娘恋しさに、嘆き悲しみオリュンポスの山を下りて人間界をさまよったんですわ。

そうしたら地上では麦や野菜が枯れてしもうたんですわ。

その時な、デーメールさんが、ある王さんの館に招かれてご馳走を出されたんやけど、顔を布で隠して娘恋しさに黙って、食事に手も付けんかったんですわ。

そうしたら、その館の召使がアメノウズメと同じように卑猥な踊りを踊ったんで、デーメールさんがつい笑いだし、地上に再び穀物が実り、収穫ができるようになったんですわ。

そやけど、娘のペルポネさんね、冥界でハデスからもろうたザクロ12粒のうち4粒を食べてしまはったんですわ。



ペルセポネの帰還

そんで、一年のうち4ヶ月は冥界に行ってハデスの妻となる必要がありまんや。  
その間は、デーメールさんは地上に実りをもたらすのを止めてしまったのでっせ。  
これが冬の始まりやちゆうんですわ。  
まだまだ、ギリシャ神話と古事記の共通点が一杯ありまんにやけど、ここら辺で止めまっさ。

そうそう、ゼウスさんね、一杯浮気しますやろ。  
オオクニヌシさんも、同じでっしやろ。また、インドのシヴァさんも同じですわな。  
ちゆうか、オオクニヌシさんは『大国』やから『大黒』とも呼ばれまっしやろ。  
シヴァさんね、マハーカーラちゆう別の名前ありますんや。  
ヒンズー語で『偉大なる黒(色)』という意味でんがな。同じでんねん。  
マハーはマハラジャのマハですわ。  
摩訶般若波羅蜜多心経の摩訶ですがな。お薬のマカとちやいまっせ。  
シヴァさんのリングア崇拜が、大黒天さんでは、ほれ、後ろから見ると、あの  
頭巾と二つの袋、いや、米俵がな、あれになってまっしやろ。  
えっ、何のことかよう分からんてですか？  
これ以上、言わせんといってくださいな。



あの一、日本の神話に中国の道教の話も少し入ってることも言うときますわ。  
あの担当者が、左遷されて、やけくそになったんでしやろね。  
あれですわ、ミソギの話でんがな。  
イザナギが黄泉の国から逃げてきて、海で左の眼を洗ったらアマテラスが生まれて、右の眼を洗  
ったらツクヨミが生まれたちゆうやつですがな。  
あれね、道教では混沌の中から天と地を分けた『盤古』ちゆう大巨人がいてな、彼が死んだ  
時に、息は風や雲に、声は雷に、左の眼は太陽に、右の目は月になったちゆう神話からパクッて  
まんのや。

それに、南洋の国々の話も日本の神話に入ってるまんのやで。  
海彦山彦、それに因幡の白兎でんがな。  
因幡の白兎さんなんか、ワニと仲間の数を比べようというて、隠  
岐から因幡までワニの背中に乗って渡って来ましたんやんか。  
あれは、あいつの筆記ミスですわ。ワニなんか、昔から日本にい  
ませんがな。  
あいつが、ギリシャから飛ばされた時に途中で集めた話のひとつ  
ですねん。



山陰ではサメをワニと言ったとか

あいつね、日本にもワニがおると思い込んでしまうたんですわ。

それに元の話はマレーシアの話でね、ウサギやのうて、鹿でしたんですわ。

白いウサギが出てきたんは、韓国の影響ですわ。

韓国の人は昔から白色が好きなんですわ。

神様が降臨したのは太白山で、白衣を着てまっしゃろ、

李朝白磁でっしゃろ、キムチは白菜からつくりますやろ。

韓国は昔にシラギって言いましたさかいな。

そしたら、ここ掘れワンワンの犬のシロも韓国から来たんかいな。いや、ちゃうか、犬の名前はポチやったかな。

ポチいうたらインドネシア語のプティ(Putih)から入ってきたんやろか？

そんなら、日本には北と南から犬が入ってきたんやろか？

秋田犬と土佐犬の違いでっしゃろか。

猫は中国から経典を船で積んで来た時に、ねずみに食われんように乗せて来たんやけどな。

うち、ニャーに言うとか、分らんようになってきたワン。

ところで、神話って何か知ってまっか。

それはですね、依頼した王族、貴族の皆さんが、自分のルーツに箔をつけるために神話の中に先祖を登場させて、系図づくりに利用したんですわ。

それはギリシャも日本も同じですねん。

あつ、そやそや、左遷された奴ね、その後に日本で『竹取物語』ちゆう昔話も作ったんでっせ。

星座を知らんもんやさかい、コンプレックスがあつたんやろね。

月からのお姫様の話を作りよつたんですわ。

でも、竹取物語に月のことなんか全然できませんやろ。

これね、あいつが途中で中国法人から仕入れた道教の話をパクつたんですわ。

そんなん、当時の日本人には考えつきませんわ。

本人は『竹取物語は神話と物語の中間に位置するものすごい作品や』って言うとりますけどな。

道教の神仙思想に、藤原一族への復讐を入れて、、、、あかん、あかん、また、しゃべり過ぎや。

またの機会にお話させていただきまっさ。

そやけど、神話って性におおらかやねえ。



韓国には染色技術がなかったのか？



月へ帰るかぐや姫(土佐広通、広澄・画)